



おんしりん

2013
No.98
広報 恩賜林



国際コモンズ学会
北富士大会ロゴマーク



国際コモンズ学会
北富士大会
吉田高校書道部

10/6(土)
おんしりんまつり「コモンズエリア」

今回のおんしりんまつりの目玉として、新たに「コモンズエリア」を設置し、本年6月に開催される国際コモンズ学会のアピールとして活動内容をまとめたパネル展示をはじめ、コモンズマークの貼り絵や塗り絵体験、地域文化体験等の体験ブースを充実させたほか、世界各国の食を楽しめる屋台などを設けるなど、大会にむけ地域の機運を高めるイベントを実施しました。



新年のごあいさつ

第4回定例会

補正予算可決

第3回定例会

平成23年度決算を認定

恩賜林百年の森づくり条例制定

イベントフォトスケッチ

対談「森林を活かし、
未来へとつなげていくために」

「コモンズ通信」／ 謝 謝 来 園



平成25年第1号
発行日 平成25年1月15日
発行元 富士吉田市外二ヶ村恩賜林県有財産保護組合
富士吉田市上吉田5605番地
TEL 0555-22-3355
FAX 0555-23-3425
ホームページ <http://www.onshirin.jp/>
メールアドレス kumiai@onshirin.jp

新年のごあいさつ



組合長 佐藤 幸三

一市二村の入会住民の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、恩賜林組合に対しまして、深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、就任以来申し上げておりますとおり、組合の財産は入会住民総有のものであることを念頭に、高い倫理性をもって職にあたるべきところであります。入会組合及び構成市村との融和と協調を図り、富士山北面の入会権を堅持しまた承継していくという組合組成の原点を常に認識した基本姿勢を貫いているところであります。そしてこれに基づいた次の三つの基本施策を掲げ取組んでおります。

- ① 長期的視野に立った森づくり
- ② 昭和48年の演習場使用転換時の地元条件に思いを馳せた演習場問題への取り組み
- ③ 国際コムンス学会北富士大会の成功

本年は、まず3月末に、北富士演習場に

係る国との権利協定であります入会協定と行政協定であります使用協定がともに期間満了を迎えます。入会協定については、入会行為に保健休養を追加するなどの課題があり、また、使用協定に関しては、一昨年の日米共同訓練を受入れるにあたり国との間で確認した北富士駐屯地と梨ヶ原廠舎地区の使用に関する協定締結や使用転換時以来遅滞している合意事項の進捗問題など、国との一定の合意形成を急がなければなりません。

また、六月上旬には、国際コムンス学会北富士大会の開催があります。単に研究者の学術大会に終わらせることなく、北富士の入会が世界中のコムンスにかかわる人々の心を動かし、また、この地における本格的な国際会議の先駆けとなり地場産業としての国際交流産業萌芽のための新たな芽とさせたいと考えています。

以上の二点について、入会住民の皆様の一丸となったご協力をお願い致します。

これらの課題をきっかけとし、あるいは包括しながら、長期的な視野に立った富士山の総合的な森づくりの指針を明らかにしてまいりたい所存です。恩賜林百年の森づくり条例に従い、近く恩賜林百年の森づくり委員会を組織し、森づくり構想などについて諮問する予定であります。入会協定・使用協定またコムンス学会世



議長 渡辺 幸寿

界大会の次に取組む重要なものとして、北富士の未来を志向した森づくりに着手してまいります。

本年も、これらの三点の基本施策の実現に向け引き続き全力を尽くして参る所存でありますので、入会住民の皆様におかれましては、より一層の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

どうか、本年が皆様方にとって実りある幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

一市二村入会住民の皆様、あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、組合議事を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

入会住民の皆様には、平素より本組合並びに組合会の運営に対し絶大なご協力を賜り、深く感謝の意を表しますとともに、本年も倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、昨年六月定例会において、第六十五代組合会議長に就任しました。このことは、私にとりまして誠に身に余る光栄であり、衷心から感謝いたしております。また昨年は、オリンピックイヤーでも

あり、ロンドン五輪では日本選手団の獲得メダル数が史上最多の三十八個となりました。中でも地元出身の米満達弘選手がレスリングの男子フリースタイルで金メダルを取るなど地元にも明るい知らせをもたらし、皆様方も大いに盛り上がったことと思います。

さて、本年は、三月に北富士演習場の第八次使用協定並びに第五次入会協定がともに満了します。これらの更改に向けて組合会議員としても関係市村、入会組合等の連携を図りながら一市二村関係住民の福祉向上を基本として研究、検討を重ね、慎重に審議を行っているとおりであり、最終段階の詰めをまさに行おうとしているところでありますので、ご協力をお願い申し上げます。

今後、当議会の議員は、自らが旧十一ヶ村入会住民の代表者であるとの認識にかんがみ、皆様からの信任を反映させるべく議決機関としてその権能を遺憾なく発揮し、執行者と相携えながら本組合の運営に対処してまいりたいと考えています。

この先も本組合の周囲には幾多の難題が待ち受けているかと思いますが、当議会は、皆様のご理解とご協力をいただく中、入会権擁護と地域福祉の向上を期し、一市二村の歩調を揃えた発展のため努力を惜しまない覚悟しておりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

第4回定例会開会 ― 補正予算を可決

平成24年第4回定例会は12月12日から12月25日までの14日間で会期を終了しました。定例会において、上程された議案は、すべて原案のとおり可決されました。

◎議案第十四号

組合特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(可決)

恩賜林百年の森づくり委員会の設置に伴い、所要の改正を行うものです。

◎議案第十五号

平成二十四年度組合一般会計補正予算(第二号)(可決)

既定の予算に、歳入歳出それぞれ八百四十二万七千円を追加し、補正後の予算総額を二十五億九千二百九万四千円とするものです。

◎議案第十六号

平成二十四年度組合林産物流通事業特別会計補正予算(第一号)(可決)

既定の予算に、歳入歳出それぞれ三百三十四万四千円を減額し、補正後の予算総額を五千百十五万八千円とするものです。

◎議案第一号

組合会議委員会条例の一部改正について(可決)

地方自治法の一部改正する法律(平成二十四年法律第七十二号)に伴い、所要の改正を行うものです。

◎議案第二号

組合会議委員会規則の一部改正について(可決)

地方自治法の一部改正する法律(平成二十四年法律第七十二号)に伴い、所要の改正を行うものです。

財政事情の公表

本組合では、予算の執行状況などを地域の皆さんにお知らせするため、年に2回財政事情を公表しています。今回は平成24年度一般会計及び特別会計の上半期(9月30日現在)における予算執行状況並びに基金の状況について公表します。

平成24年度歳入歳出予算の執行状況(上半期)

◎一般会計

歳入			歳出		
科目(款)	予算現額	収入済額	科目(款)	予算現額	支出済額
1 使用料及び手数料	4,886,000	4,654,610	1 議会費	57,184,000	27,393,575
2 国庫支出金	12,102,000	0	2 総務費	474,359,000	245,406,101
3 県支出金	8,238,000	0	3 事業費	2,040,333,000	163,525,460
4 財産収入	513,853,000	472,091,707	4 公債費	1,000	0
5 繰入金	411,940,000	50,000,000	5 予備費	10,000,000	0
6 繰越金	1,000	0	計	2,581,877,000	436,325,136
7 森林整備交付金	1,000	0			
8 諸収入	1,630,856,000	1,605,101,041			
計	2,581,877,000	2,131,847,358			

◎林産物流通事業特別会計

歳入			歳出		
科目(項)	予算現額	収入済額	科目(項)	予算現額	支出済額
1 営業収入	46,860,000	42,072,004	1 営業費	54,301,000	37,998,151
2 営業外収入	7,642,000	7,522,210	2 営業外費	1,000	0
計	54,502,000	49,594,214	3 予備費	200,000	0
			計	54,502,000	37,998,151

◎関係市村賦課金の概要

賦課金なし



◎財産及び積立金の状況

基金名	金額
財政調整基金	2,121,613,131
林業振興事業整備基金	6,764,045,020
計	8,885,658,151

(平成24年9月30日現在)

10/14(日)



きのこ狩り体験

10/13(土)・14(日)



ステンシル教室

9/30(日)



おんしりんかまど体験

イベント
スケッチ
Event
Photo
Sketch

11/18(日)・19(月)・22(木)・25(日)



リース作り体験

10/27(土)・28(日)・11/11(日)



しいたけ収穫体験

10/21(日)



おんしりん森の運動会

11/22(木)・23(金)・24(土)



寄せ植え体験

11/3(土)・4(日)

場所：鐘山総合体育館他

第13回恩賜林杯ミニバス大会



男子の部 優勝 下吉田Brosチーム



女子の部 優勝 新屋チーム

12/16(日)



しめ縄づくり体験

10/6(土) おんしりんまつり



19回目を迎えた毎年恒例のおんしりんまつり。天候にも恵まれ、約5,000人の来場者に各イベントを楽しんでいただき、大盛況のうちに終了いたしました。

おんしりんまつりにご協力いただきました関係各位の皆様にお礼申し上げます。

第3回定例会開会 — 平成23年度決算を認定

平成24年第3回定例会は9月10日から10月4日までの25日間で会期を終了しました。本定例会において、上程された議案は、すべて原案のとおり認定・可決されました。

◎議案第十号

平成二十三年度組合一般会計及び平成二十三年度組合林産物流通事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定)

一般会計の決算は、歳入二十二億百十二万三千四百四十円、歳出二十二億六千六百七十五万七千三百円、歳入歳出差引額は三千四百三十六万四千円です。
林産物流通事業特別会計の決算は、歳入歳出ともに四千八百二十二万二千八百十八円です。

◎議案第十一号

富士吉田市外二ヶ村恩賜林有財産保護組合百年の森づくり条例の制定について(可決)

富士山北面の森林が有する公益的機能が高度に発揮される森づくりを行い、次世代に継承するための条例を制定するものです。

◎議案第十二号

富士吉田市外二ヶ村恩賜林有財産保護組合入会協定審議会条例の一部改正について(可決)
入会組合の組織変更等にかんがみ、条例の一部改正するものです。

恩賜林組合 百年の森づくり条例を制定

恩賜林組合は、富士山北面の広大な入会地を統制管理する入会団体であります。主に入会稼ぎのための直接利用に供されていた入会地は、明治以降、造林地として整えられ今日の富士山全体を覆う美林となっております。御料地の御下賜から二世紀を経て、この美林は、新たな入会の世紀に入りました。組合では、この美林が有する公益的機能が高度に発揮される森づくりを行うための基本理念を定め、組合の責務及び住民の役割を明らかにするとともに、森づくりに関する施策その他の取組を総合的かつ計画的に推進することにより、富士山北面の入会に基づいた豊かな環境、資源及び文化を育む森林を保全し次世代への継承に資することを目的として「百年の森づくり条例」を制定しました。

新議員の紹介

平成二十四年第三回定例会において、新しく組合会議員に就任しましたので紹介します。



天野 洋尚
山中湖村

平成23年度各会計別決算の概要

◎一般会計

(単位：円)

科目(款)	歳入	
	予算現額	収入済額
1 使用料及び手数料	4,710,000	4,731,410
2 国庫支出金	9,699,000	9,699,000
3 県支出金	20,046,000	20,361,087
4 財産収入	516,772,000	512,904,518
5 繰入金	55,450,000	7,822,100
6 繰越金	6,101,000	6,101,190
7 森林整備交付金	1,000	0
8 諸収入	1,635,868,000	1,639,501,035
計	2,248,647,000	2,201,120,340

(単位：円)

科目(款)	歳出	
	予算現額	支出済額
1 議会費	53,415,000	52,319,016
2 総務費	491,019,000	429,395,047
3 事業費	1,694,212,000	1,685,043,237
4 公債費	1,000	0
5 予備費	10,000,000	0
計	2,248,647,000	2,166,757,300

◎林産物流通事業特別会計

(単位：円)

科目(項)	歳入	
	予算現額	収入済額
1 営業収入	38,901,000	38,954,031
2 営業外収入	9,958,000	9,058,787
計	48,859,000	48,012,818

(単位：円)

科目(項)	歳出	
	予算現額	支出済額
1 営業費	47,271,000	46,625,218
2 営業外費	1,388,000	1,387,600
3 予備費	200,000	0
計	48,859,000	48,012,818

美しい富士山北面の入会地。 この森林を活かし、未来へとつなげていくために。



佐藤幸三
組合長

対談

山本清龍
岩手大学
農学部准教授

■プロフィール
山本 清龍(やまもと きよたつ)氏
1973年高知県生まれ。東京大学農学部助教を経て、2011年より岩手大学農学部准教授。山梨県環境科学研究所特別客員、研究員等公共機関の委員を歴任。専門領域は自然公園の計画と管理、森林環境教育、旅行者の行動と心理など。



富士山を背に土丸尾散策路を歩く。
「とても良い散策路ですね」と山本先生。

天皇陛下の御下賜より一世紀が経過した私たちの恩賜林。平成24年9月には、「富士吉田市外二ヶ村恩賜林有財産保護組合 百年の森づくり条例」が議会で可決され、いよいよ新たな時代を迎えます。そこで、今年の新春対談では、岩手大学農学部の山本清龍准教授をお招きし、恩賜林の未来について、これからの森づくりについて、語り合いました。

佐藤組合長…山本先生は東大の林学科のご出身とのことですが、そもそも森林分野に進もうと思われたきっかけは何だったのですか？

山本…父が変形菌(粘菌)の研究をしていたものですから、幼い頃からよく山に連れて行かれました。父の場合、山頂を目指すのではなく、研究のために落ち葉とか朽ちた倒木を観察して山歩きをするわけです。当時は、「本当は野球がしたいのに…」なんて不満に思いながら歩いていたんですけど、今思うと、その頃の体験が森林分野への最初の接点になったように思います。

組合長…その後、東大ではどのような研究をなさったのですか？

山本…学部の専門課程と修士課程では、森林風致計画学研究室に在籍し、松林の景観に関する研究をしたり、銭湯を取り上げて「立地と空間構成」をテーマとする研究に取り組んだりしました。ちなみに、博士論文のテーマは「富士山」だったので、これらには共通点がありまして、学部時代から考えに詰まると近くのお風呂屋さんに行つては考えを整理していたものですから、知らず知らずのうちに銭湯の壁にある松林のむこうに富士山が描かれた絵に影響を受けていたわけです。

組合長…その後、大学に勤務されたそうですが、その頃は何をされていたのですか？

山本…まず東大のキャンパスの中で、全国に約3万ヘクタールある東大の演習林の管理や計画づくりなどに取り組みました。それで、一年半ほどたった頃、久しぶりに山中湖にある富士演習林に教員を配置したいということになりまして、レクリエーションや景観を扱う森林風致という分野を専門にしている私に白羽の矢が立ったようです。

組合長…確か、二〇〇一年に来られたので

すよね。当地の印象はいかがでしたか？

山本…ええ。約10年間、富士山や青木ヶ原樹海をフィールドにして「自然公園の計画と管理」に関する研究や、演習林を拠点に「森林環境教育」に関する研究などに取り組みました。しかしもとも高知出身で、氷点下の世界を知らない僕にとっては、冬の寒さは衝撃でした。

御下賜二〇〇年を経て、 新たな時代へと向かう 恩賜林組合

山本…地域で管理している財産林は他にもありますが、恩賜林は山梨だけです。組合長…この恩賜林という名称は、明治42・43年に起きた大水害の復興財源として、天皇陛下が御領地を御下賜されたということから来ています。



Kozo Sato
佐藤 幸三

山本…長い歴史があるのですか。こちらの組合も、当時生れたのですか？
組合長…組合の成り立ちには、旧11ヶ村がこの地域に入会う権利を細かく定めた江戸幕府による裁許状があり、現在に至るまで営々と守ってきました。と同時に、富士山北面の県有林を管理し、森林の育成、自然の保護にも取り組んで、森林の持つ多面的機能

能を入会住民の方々に享受するというのも、我々の大きな使命となっています。

山本…なるほど。

組合長…また、昨年の3月11日、御下賜一〇〇年を迎えたことで、私どもの組合活動も新たな時代に入ったと認識しています。今までも、森林を管理する一方で、この地域の方々に恩賜林においていただき、森林に親しんでいただけるよう、恩賜林庭園や土丸尾地区の遊歩道を整備したり、さまざまなイベントを開催したりと、一市二村の入会住民の福利厚生にも大きな力を注いで来ましたが、今年9月には「二〇〇年の森づくり条例」を議会に提出し、承認を得ましたので、今後は、新エネルギーとして注目されている木質バイオマスにも取り組む、循環型社会の構築を目指すなど、新たな活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

美しい自然を、 私たちの森を、 次世代へとつなげる ために大切なこと

組合長…今後の森づくりにどのように取り組んで行くべきか、専門家のお立場から御意見を伺いたいのですが。

山本…かつて、演習林の森で生産される木材収入が東大の収入全体で大きな割合を占めていた時代がありました。林業が隆盛を極めた時代とは違い、現在では、社会情勢に合わせた森林経営と管理の方法が求められていると思います。富士山の場合は、古くからかなり標高の高い場所まで人が自

然と関わって来た歴史があり、しかも、それぞれの森が使い分けられてきたわけですから、林産物の採集も含め、かつてこの地域がどのように森林を活用してきたのかという歴史も参考にしながら、森づくりを進めていくことが重要なのではないでしょうか。

組合長…人と森との関わりと言う点はどうでしょう。

山本…自然の魅力を感じてもらったり、価値を認識してもらったりすることが大切だと思います。最近健康志向が高まっていますから、散策路や庭園を整備し健康保持に活用するというのはとてもいいと思います。さらに「歩を進めて、たとえば、体重何キロの人がこの区間を歩く」とどの程度のカロリーが消費されるかというような情報を区間ごとに提供するというのも、散策や運動の目的が出来るおもしろいのではないかと思います。それから、子ども達。せっかくなので、それだけの素晴らしい自然が身近にあるのだから、それを使いながら学んでほしいなと思います。僕は、最終的にみんなで議論しなければならぬことは、みんな何を守るかと言ふことになると思っています。ところが、自然に対する価値認識が形成されていないと議論ができない。そういう意味でも、啓発活動だったり、環境教育だったりということ、は、今後さらに重要になっていくと思っています。



Kiyotatsu Yamamoto
山本 清龍

組合長…私が子どもの頃は日常的に森の中に入り、林野産物を採取したりしたのですが、今の子どもは地元にいなくてもそうした機会はなかなかありませんからね。私どもとしても、森に接する機会を持つてもらいたいと、子ども達を対象としたイベントも開催しているのですが、自然の大切さを教えていくことが、この自然を次世代へとつないでいくことになるのですから、今後はさらにそうした機会を増やしていきたいと思えます。ところで、世界文化遺産登録への期待もあり、話題性もあるでしょう。富士山を訪れる人は年々増えています。私どもとしても、この機会に何かできればと思うのですが…

山本…実は、僕自身は、今回の登録に関しては、盛り上がりがいまひとつ欠けるように感じています。文化遺産ということで、自然分野の人がカヤの外になってしまっているのかもしれないですね。しかしながら、文化とは人と自然との関わりの中で物心両面で作られるもの。自然との関わり方そのものが文化なのです。世界中から訪れる人にも、日本人が自然とこういう風に関わって来たんだというのを見せることが重要なのですから、恩賜林組合さんにはぜひ陣頭に立って、当地の歴史や森林との関わり方を、自信を持って世界に発信していただきたいですね。

組合長…今年は、使用協定・入会協定の締結や、ユネスコ世界大会、そして世界文化遺産登録など、盛り沢山な一年となりますが、この美しい自然を次の世代につなげるためにも、今日のご意見も参考にしながら、私どもにも与えられた使命を全うしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。

平成
25・26
年度分

指名競争入札参加資格申請書の受付について

組合が発注する建設工事や物品の納入等を希望する事業者は、事前に指名競争入札参加資格申請書を提出し登録を受ける必要があります。平成25・26年度分につきましては、次のとおり申請書を受け付けます。なお、現在登録されている指名競争入札参加資格の有効期限は、平成25年3月31日です。

- 提出書類** ● 指名競争入札参加資格申請書(組合指定様式及び添付書類)
組合指定様式については、組合ホームページからダウンロードできます。
- 提出場所** ● 恩賜林組合2階事務室(契約係)
- 受付期間** ● 平成25年2月1日から2月28日まで(土、日、祝日は除く)
- 受付時間** ● 午前9時から正午まで
午後1時から午後5時まで
- 有効期限** ● 平成25年4月1日から平成27年3月31日まで(2年間)
- 受付・問合せ** ● 22-3355(企画財政課)



おんしりん スノーシュー体験会



スノーシューとは「かんじき」を使って雪の上をらくらく歩く雪上ウォーキングです。ゲームをしながら寒い冬を吹き飛ばそう!

【日時】 平成25年2月16日(土) ※雨天中止
1回目:午前9時30分~11時30分
2回目:午後1時~3時

【場所】 土丸尾地区
【対象】 富士吉田市、忍野村、山中湖村在住の小学生から大人
(保護者の方も参加可能)

【費用】 無料
【定員】 各回先着20人(予約制)
【申込み・問合せ】 22-3355(森林文化課)

コモンズ 通信 Vol.2

国際コモンズ学会
北富士大会も余すところ約五ヶ月に迫り、いよいよ本格的な準備に入ってきております。

「国際会議と聞くだけでは、みなさんはあまり関心を持たれないかもしれません。」

しかし、この大会の一番の特色は、コモンズの研究者とその当事者(入会住民)が協働して主催するという他に例を見ない国際会議だということです。

事務局としましては、大会に向け関連する様々な企画・イベントを実施していくなかで住民との関わり合いを深めていきながら、この国際会議を地域全体に浸透させていきたいと考えています。

私たちの住むこの北富士地域で、世界約70ヶ国から訪れる六百人もの研究者らと交流できる滅多にないチャンスです。

みなさんもぜひ、お気軽に参加いただき、この地域住民参加型国際会議を一丸となって盛り上げていきましょう!!!

第14回国際コモンズ学会
北富士大会
2013年6月3日(月)~7日(金)・北富士地区

コモンズイベント ご参加お待ちしております!!

コモンズを考える 学習会

~ここには守っていききたいものがある~

《講師を招き、コモンズの様々な分野に関わる学習会を行います》

- 【テーマ】** 第1回「北富士入会について(前編)」(計5回実施)
- 【日時】** 平成25年1月19日(土)午後3時から午後5時
- 【場所】** 富士吉田市民会館会議室
- 【対象】** 一市二村に在住でコモンズに関心のある方
- 【募集人数】** 50名(定員になり次第締切ります)
- 【お申込方法】** 電話申込(平日 午前9時から午後5時まで)
- 【問合せ】** 22-3355(コモンズ推進室)
- 【今後の予定】** 第2回 平成25年2月16日(土)
第3回 平成25年3月23日(土)
第4回 平成25年4月20日(土)
第5回 平成25年5月25日(土) ※全て予定です

絵画・絵手紙募集!

6月に開催が迫った国際コモンズ学会北富士大会の関連企画として次のとおり作品を募集します。

- 【テーマ】** 「わたしの好きな富士山」
- 【対象】** 絵画部門：一市二村在住の小学生
絵手紙部門：一市二村在住の一般(中学生以上)
- 【用紙】** 絵画部門：八つ切り画用紙
絵手紙部門：50円切手で郵送可能なサイズ
- 【提出先】** 絵画部門：各小学校
絵手紙部門：恩賜林組合あてに郵送
- 【締切】** 平成25年2月28日
- 【問合せ】** 22-3355(コモンズ推進室)
- ※優秀作品のデザインをもとにコモンズ学会参加者への記念品を作製します。



謝謝 来園



お母さんといっしょに
しめ縄づくり
初体験。
お見事!
上手にできました。

富士吉田市新西原
けいと
橋田 慶人くん(7歳)
えいた
橋田 瑛太くん(5歳)

無料法律相談

日程 第6回 平成25年3月12日(火)

一市二村入会住民の方を対象とした
無料法律相談です。

受付:午後1時から2時まで
場所:恩賜林組合3階
予約:受け付けておりません

※当日の受付順に相談していただけます。
※指定日以外または電話による相談はできません。



この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの植物油性インキを使用して印刷しました。

この印刷物は色覚障害の方に配慮し制作しています。